



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成25年9月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.129



百歳以上の長寿者を県民挙げて祝福するため、本年度は各町の協力を得ながら西臼杵郡内の今年度百歳到達長寿者の方々へ内閣総理大臣及び知事からの祝い状と記念品を贈呈しました。

今年度百歳を迎えるのは、梅田スエミさん、橋本梅子さん、戸高キヨカさん、佐藤キクエさん、甲斐マツノさん、那須信さん、原田忠子さんの七名です。

また、9月13日から9月24日までの間に、西臼杵郡内にある特別養護老人ホーム（3施設）及び養護老人ホーム（2施設）において、敬老祝賀会が開催されました。

この内、五ヶ瀬町の特別養護老人ホーム「ごかせ荘」では9月13日に開催され、今年度百歳になられる原田忠子さんをはじめ、施設に入所されている方々とそのご家族などが出席され、ご長寿の喜びを分かち合っておられました。

超高齢社会を迎えるなかで、今日の私たちがあるのも、戦後の混乱期を経て我が国の繁栄を築かれた方々のご尽力の賜物であることを忘ることなく、私たち一人ひとりが高齢者の皆様を敬い社会全体で支えていかなければならないと思います。

みなさま、ご長寿おめでとうございます。いつまでもお元気で！！

古民家のめしや「しんたく」がオープンしました！

高千穂町の秋元集落において、古民家のめしや「しんたく」がオープンしました。

地元の主婦のみなさん10人が中心となり、空いていた築150年ほどの古民家を使用しています。

みなさんは普段農業を営んでおり、食材は全て自家製です。また、ランチやコース料理だけでなく、コーヒーもお茶も提供しているので、カフェがわりに気軽に利用することも出来ます。

県の「平成25年度シニアパワー元気はつらつ宮崎づくり推進事業」の活用等で広くPRも図りながら、観光客だけではなく、地元の住民のみなさんにも広く利用していただき、将来的には観光客と地元住民のみなさんが交流できるような

場として、
秋元集落
のさらなる活性化につながることが期待されます。



店内には彫物が飾られ、囲炉裏も設けられています。



古民家のめしや「しんたく」の店頭の様子

「神楽の舞」が販売開始されました！！

高千穂町岩戸にある精神障がい者等の就労支援を行う障害福祉サービス事業所「高千穂焼作業所」を運営するNPO法人「談笑会」は、9月14日から神楽や神話で知られるタチカラオとウズメの顔をかたどった手作り焼き菓子の販売を開始しました。

菓子はタチカラオには「みそ」、ウズメには「日之影産ゆず」が入っており、道の駅「高千穂」や直売所「鬼八の蔵」等で販売しています。

高千穂らしいお土産として定着していくれば、利用者の方の工賃も向上し、より一層生活が安定することが期待されます。

是非、高千穂のお土産としていかがでしょうか！！



高千穂焼作業所のみなさん

中川登集落「アート米観田祭」

「高千穂郷通信」7月号に掲載した中川登集落の田んぼアート（6月22日田植え）が見頃を迎え、デザインした文字と絵柄が鮮やかに浮かび上がっています。

9月20日には、「観田祭」が行われ、集落の皆さんと招かれた関係者の方々が一緒に鑑賞しながら、地域や農業について語らい合いました。

ひと味違った棚田の風景も、10月初旬で見納めとなります。使用した観賞用の稲は、刈り取られた後、ドライフラワーやしめ縄などの材料として、活用されるということで、こちらも注目です。



アート米で浮かび上がる「祝」の文字

木工教室（巣箱作り）

西臼杵地区林研グループでは、木の魅力や暖かさなどの木の良さを感じてもらおうと、8月20日に、日之影町内の小学1年生から6年生までの子供達を対象に、木工教室（巣箱作り）を開催しました。子供達は、森林の働きや役割等の説明を真剣な面持ちで聞いた後、巣箱作りに挑戦しました。

子供達の中には、慣れた手つきで金槌を使いながら巣箱を完成させる子もいれば、なかなか釘を打ち込めない子供もいましたが、林研グループの手を借りながら無事に完成させることができました。完成した巣箱に絵や文字を描く子供達もあり、夏休みの思い出のひとつになったと思います。最後にはみんなで記念写真を撮りました。



西臼杵の秋の味覚「くり」の出荷が最盛期

8月26日、JA高千穂地区宮水野菜集出荷場（日之影町七折）でくり選果機の稼働式が行われ、西臼杵のくりは、これから10月上旬頃まで出荷最盛期を迎えます。

目視による傷等の確認を受けた後、選果機の光センサーにより選果、選別されたくりは日本一とも言われる高い品質を誇っており、こうした厳しい選別を受けたくりのうち、A品、2L以上のものは「みやざきびっ栗」としてみやざきブランドに認証されています。

西臼杵のくりは高級和菓子に使われるなど人気が多く、その多くを名古屋方面に出荷しています。今年は高温・少雨でやや小玉傾向ということですが、日照時間が十分確保されたこと也有って、味は「ビックりする程おいしい」ので、西臼杵の秋を代表する味覚を是非御賞味ください。



平成26年度全国茶品評会上位入賞を目指して巡回指導を実施

9月12日に西臼杵地区茶業協会（会長：小笠秀哉氏）が、平成26年度全国茶品評会に出品を予定している茶園の巡回指導を実施しました。

当日は、出品を予定している農家13戸の茶園を巡回し、中央指導班の県営農支援課、県総合農業試験場茶業支場の職員の立ち会いのもと、秋整枝の適期や刈り込む高さ、病害虫の防除対策等について茶園ごとに確認していました。

19年ぶりの本県開催となる全国茶品評会において、「釜炒り茶」日本一の産地である西臼杵地域としては是非とも上位入賞を果たしたいという気運が高まっており、そのためにも今後とも出品農家の皆さんへの各種支援を実施し、地域全体でその取組を盛り上げていきます。



農村女性6次産業化実践セミナーを開催しました！

8月29日と9月19日、西臼杵農業改良普及センターで、農村女性の起業活動で課題となっている「販路拡大」をテーマにした標記セミナーを開催しました。

参加者は、西臼杵地区と東臼杵地区の農産加工に取り組む女性農業者や直売所、関係機関の担当者で、あわせて約60名が受講しました。

1回目は、広島県の中小企業診断士、渡貫久氏による『商品規格書』の作成、2回目は福岡県の商業施設コンサルタントの内村明子氏による『POP作成』など、各自の販売スキル向上のための講義や個別相談、視察、実習を行いました。

参加した女性農業者からは、「販路開拓に商品規格書を活用していきたい」「お客様の立場に立ったPOPを書いて、商品を手に取って頂けるようにしたい」との声が聞かれました。



8月29日 商品規格実習の様子



9月19日 POP作成実習の成果

9月・10月は、秋の全国農作業安全確認運動期間です！

稻刈りや飼料作物の作付け作業などが忙しくなる9月から10月までは、農作業安全確認運動期間です。

農業機械の事前点検（刈り払い機の刃部分のネジの緩み、停止ボタン作動の確認）や、安全装備（防護メガネ、手袋、ヘルメット等）の着用を行い、無理のない作業計画を立て、安全な農作業を心がけましょう。

また、この時期は、夏の疲れが出る時期でもあります。体調管理に気をつけて農作業に臨みましょう。



危険部位に触る時は必ずエンジンを止めてから！



横転しないよう、走行は慎重に！

J A女性部・鳥獣被害対策研修会のお知らせ

来る10月21日（月）、22日（火）に西臼杵管内4地区で、JA女性部員や地域の女性を対象にした鳥獣被害対策・現地研修会を計画しています。

講師に奈良県出身で宮崎県の鳥獣被害対策スペシャリストである井上雅央氏を招き、「家庭菜園の鳥獣被害対策」について、実演も交えて勉強する予定です。

わかりやすく、とても楽しい講演をされる先生で、各地で女性の力で被害を防止し、鳥獣に負けない地域づくりのアイデアをいただけます。是非御参加ください。

【日程】

10月21日 10時～12時：上野・田原 1時30分～3時30分：日之影
10月22日 10時～12時：五ヶ瀬 1時30分～3時30分：高千穂・岩戸
問合せ先：JA高千穂地区生活課 （TEL 0982-73-1301）
西臼杵農業改良普及センター（TEL 0982-72-2158）



女性部研修の様子

編集後記

9月に入り、ここ高千穂は朝晩涼しく、過ごしやすい季節となりました。危惧していた朝露坊もなく、快適な睡眠生活を謳歌しています。また、栗などの秋の味覚も楽しみな季節でもあります。充実した食欲の秋となりそうです。そして、西臼杵郡でも10月はお祭りやイベントが盛りだくさんです！睡眠にお祭りに忙しい季節となりそうです！（猿）

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

○お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org_chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html